

多感な高校生にとって教育旅行（修学旅行）は学生時代の一大イベントだ。楽しみでもあり、また不安でもある。非日常の場に身を置き、その土地ならではのものに触れ、見て、人と接することで視野が広がることもある。ここでは充実した教育旅行（修学旅行）を実施する2校の取り組みを取り上げる。

東京都荒川区にある開成学園(丹沢泰雄学園長)は、1987年創立された中学・高校一貫教育の男子校。進学校として名高いが、部活動や委員会、あるいは運動会、文化祭などの学校行事に文化が自主的に取り組む生徒が多いのも大きな特色だ。

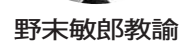
永野敬久教諭

修学旅行の生徒と、実地研修の高校の生徒

主体で企画されている。生徒はまず旅行の前日、50人ほどの生徒で、旅行委員会の役員を決定し、行き先候補のプランを検討。その後、旅行委員会が学年集会で候補プランについてプレゼンテーションを行い、最終的に生徒会員の投票で行き先を決めるといった。

2009年の修学旅行に担当した永野敬久教諭

「修学旅行は、総合的な



知多半島の中心、半田市に位置する愛知県立平田高等学校

野木敏郎教諭

けており、知多地区生徒
探求発表会やサイエンス
・コミュニケーション
といったSDG事業、イギ
リスやタイへの海外研修
などを通して、国際社会
に通用する人材の育成を
目指している。

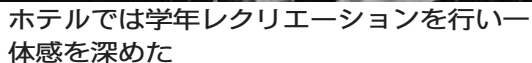


その郷民泊体験。農作業を手伝う生徒たち（上）と離村式での阿波踊り

な学園の意味合いもあるが、生徒の自主自律の考え方を養うという狙いもある」と明かす。「行きたくないではあつた、だけではダメだ。400人全員で動ける現代的なコースなのか。予算内に収まるのか。もちろん安全が第一だ。そういつたいろいろな制約があつて、旅行委員会の生徒が中心になつて生徒から教職員からも承認を得て、やりたいことを実現している」と加へ、「しまなみ海道」「山陰、隠岐」「香川・徳島の計4コースに分かれて修学旅行を実施することになった。6月3日から7日までの4日3泊で実施。初日は新幹線で東京から広島へ移動し、広島平和記念公園での平和学習、広島平和記念資料館を原景したほか、国立広島大学没者追悼平和祈念館では被爆者の講話を聞いた。2日目から4コースに分かれた。無人島コースは、山口県周防大島町の「香」の生徒たち約1000



現地ガイドを務めた松島高校の生徒たちと交流



他（学校）では現在でも「密の回避など」を重視するが、ボランタリーで「大団圓の会」を企画した中にも「密の回避など」を重視する。保護者と生徒に対して旅行の実施の旨についてのアンケートを取った。2割以上の家庭が修学旅行の実施に反対すれば中止もしくは3年次に延期する計画だったが、9割以上の家庭が賛成したことから10月中旬の修学旅行を実施を旨とするところとなった。8月には保護者について修学旅行実施について同様の書面を提出してもらったが、生徒たちは熱心だ」と総括した。

「移動中は話さないようにして、食事中や日記ノボなどで難しい状況ではあったが、多くの人の尽力で修学旅行が成り立ち、このを生徒たちが実感できたのも成果だ」と総括した。

野末教諭は、「震災に

興状況を把握していたが、実際に被災地に立ち上ったとき、そこにあった人の営みが一瞬にして失われる恐ろしさを全身で感じ取った。南海トラフ地震が起きた時に命を守るにはどうしたらいいかを話し合う姿も見られ、防災意識の高まりが感じられた。同教諭は振り返る。

20年度は年度当初から、新型コロナウイルスの感染拡大が学校生活のあらゆる面に大きく影響した。本来6月中旬に実施予定だった同校の修学旅行も、新型コロナウイルス禍に

歴史学習として平泉を散策した

10月には旅行前と旅行中の感染予防対策や緊急時の対応などについて説明会を行ったらしいと、保護者からの理解が得られるよう努めた。

旅行中には、起床時、バス乗車時、ホテル入館時の検温の徹底のほか、

島高校の生徒によるガイドやその際の交流を「非常に良い」「まあまあ良い」と答えた生徒が95%に達するなど、制約がある中でも旅行に満足感を覚えている生徒が多かった。

震災学習を身近なものにするために、震災をより身近なものにするために、震災学習を行くべく、多くの生徒が「コロナ禍でも修学旅行に行くことができて本当に良かった。関わってくれた多くと

スマートフォンとネット教諭。事後アンケートでは松島高校の生徒によるガイドやその際の交流を「非常に良い」「まあまあ良い」と答えた生徒が95%に達するなど、制約がある中でも旅行に満足感を覚えている生徒が多かった。

震災学習を身近なものにするために、震災をより身近なものにするために、震災学習を行くべく、多くの生徒が「コロナ禍でも修学旅行に行くことができて本当に良かった。関わってくれた多くと



その後、夕方からの入村式を経て、生徒が4〜6人を経た後、夕方からの入村式を経て、生徒が4〜6人の書道作品を完成させた。このとき、生徒は講師を務めるなど、自主自律を追求した。

無人島以外のコースでも生徒たちの思い出に残る学習活動や出来事が多かった。中でも、活動後に「生徒たちの顔つきが変わった」と永野教諭が感じるほど生徒に変容があったのが、香川・徳島一歩で行われた徳島県西部への民泊体験「そらの郷」だ。

そのの郷とは、美南市、三好市、東みよし町、つるぎ町の7市町村連携で繰り広げられる民泊の取り組み。山岳地帯にある農家で山奥の田舎暮らしを体験できる。生徒33人がそれぞれの郷での民泊を選択。3日目に金刀比羅宮の観光やフライング体験などを行っ

験するというより、自然の中で暮らしている人たちと交流するのが目的のメイン」と語る。「民泊から帰ってきたときの顔つきが、学校では見られない自然な笑顔。おじい

話になるのを嫌がる都会の子どもも多かったが、事後の感想は「みんなが『行って良かった』と口をそろえて言っていた」と永野教諭。

事後学習では、修学旅行に関する作品集を作った。冊子の名称は「文芸集」だが、作文だけでなく、写真や俳句、書道、などを寄せてもよい。その制作の意図は文字で表した。事前学習として、写真や俳句など、提出する作品について学ぶ講座に参加しなければならなかった。 「一文を書くだけではありきたりで面白くない」と旅行委員が発案したので（永野教諭も）のでた（永野教諭も）のでた（永野教諭も）のでた

事前・事後学習の一部で

Setouchi 6
瀬戸内海国立公園六市町村
修学旅行文集

香川 一歩
徳島 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛知 一歩
三重 一歩
滋賀 一歩
京都 一歩
大阪 一歩
和歌山 一歩
奈良 一歩
兵庫 一歩
神戸 一歩
岡山 一歩
広島 一歩
山口 一歩
徳島 一歩
香川 一歩
高松 一歩
愛媛 一歩
福岡 一歩
佐賀 一歩
長崎 一歩
熊本 一歩
大分 一歩
宮城 一歩
岩手 一歩
秋田 一歩
山形 一歩
福島 一歩
茨城 一歩
栃木 一歩
群馬 一歩
埼玉 一歩
千葉 一歩
東京 一歩
神奈川 一歩
新潟 一歩
富山 一歩
石川 一歩
福井 一歩
山梨 一歩
長野 一歩
岐阜 一歩
静岡 一歩
愛

広島平和記念公園での平和学習



つづに分散し
て11の農家に
まわらせた。生徒は5日目の朝まで2泊し、その農家の農作業や家
事などを手伝
いながら過ご
した。具体的
に生徒が何を
するかは学校
側が決める、
各農家に任せ
て選択したとい
う。

ちゃんねあちやんぐの家で暮らしたようにすごす。温かい人たちと一緒に過ごすという本当にいい経験をさせてもらった」と生徒を受け入れてくれた農家に感謝する。

実は当初の計画では徳島市内のホテルに宿泊して観光をするはずだったが、宿泊施設や行程の制約から、その郷での民泊に変更された。そのた

「永野教諭は『農業を体験を企画した』と永野た。永野教諭は『農業を体験を企画した』と永野た。

大自然と笑顔の町南会津へ。

笑顔と笑顔が出会う、温かい感動の物語。

南会津町 ぼくらの農村感動体験

福島県 南会津農村生活体験推進協議会

事務局 みなみあいづ観光(株式会社みなみあいづ)

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字後町甲3973-1 FAX 0241-62-7788 E-mail plan@minamiyama2.info

TEL 0241-62-2250 <http://www.minamiaizu.co.jp/>

Tourism & Community development

観光と まちづくり

日本観光振興協会発行の季刊「観光とまちづくり」は、全国の観光事業者、観光行政担当者、観光研究者をはじめ、広く多くの一般読者にも愛されている観光全般に関する唯一の総合誌です。

観光をめぐる最新の情報を提供するとともに、関心の高い課題を特集として取り上げ、その分野の専門家や実務家とともに解決の方向を探っていきます。

<最近の特集内容>

- No. 533 地域づくりとスポーツツーリズム
- No. 534 デジタルマーケティングが観光を変える
- No. 535 これからの地域ブランディング
- No. 536 観光地の危機管理

<購読料>

年間 5,200 円 (税込) A4 版 56 頁 年 4 回発行

※消費税率引上げに伴い金額は変動します。

公益社団法人 日本観光振興協会
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-1-1 虎の門三丁目ビルディング6階
TEL 03-6435-8332 FAX 03-6435-6921 <http://www.nihon-kankou.or.jp/home/>
全国の観光情報は「観るなび」 <http://www.nihon-kankou.or.jp>

新築・リニューアルオープンは告知宣伝のチャンスです！

週刊観光経済新聞は

大手・中小旅行会社・OTA

などで広く購読されています

新築・リニューアルのPRにご活用ください！

広告の他、記事執筆（取材）で告知のお手伝いをさせていただきます

お問い合わせ・プレスリリースのご送付は・・・

株式会社 観光経済新聞社

TEL 03-3827-9800

E-mail info@kankokeizai.com